

前回委員会等における指導・助言事項と その対応方針について

令和元年 6 月

沖縄防衛局

1 「レッドリストサンゴ類の生息状況等について」への対応について

区分	指摘 / 指導・助言事項	事業者の対応方針
① レッドリストサンゴ類について	【第19回環境監視等委員会】 オキナワハマサンゴのモニタリングを引き続きしっかりと続けること。	資料2において、モニタリング状況を提示。

2 「ウミガメ類の産卵場創出について」への対応について

区分	指摘 / 指導・助言事項	事業者の対応方針
② ウミガメ類の産卵場創出について	【第19回環境監視等委員会】 モクマオウについて、周辺から入ってくる可能性を考慮して、周辺の植生情報を確認すること。 グンバイヒルガオ、ハマササゲなど生長が早く攪乱にも強い植生を植えることが、ウミガメ類の上陸、産卵に対して好適な場を早く形成しやすいことから、これらの植生の優位性を確認すること。 漂着ゴミの問題について、注視すること。	資料3において、今回確認した漂着ゴミについて提示。 周辺の植生情報の整理及び植生の優位性の整理については、準備が整い次第、次回以降の委員会において提示することとした。

3 「海草藻場の生育範囲拡大について」への対応について

区分	指摘 / 指導・助言事項	事業者の対応方針
③ 海草藻場の生育範囲拡大について	【第19回環境監視等委員会】 光合成活性についての表現について、科学的な根拠をわかりやすく整理すること。	資料4において、モニタリング結果の光合成活性についての資料を提示。

4 「ジュゴンの生息状況等について」への対応について

区分	指摘 / 指導・助言事項	事業者の対応方針
④ ジュゴン監視について	【第19回環境監視等委員会】 ジュゴン個体Bについて、回遊の状況、行動の変化、土砂運搬船の航行、古宇利島周辺の藻場の変化について整理すること。 また、死因が特定できるように情報収集を行うこと。	資料5において、調査結果について提示。